

# 仙臺 阿伝祭連

せんだい  
あうんまづら

結成：平成13年3月

2001年に代表の高橋清博が、仙台のお祭りや音楽フェスティバルの関係者に声を掛け、お祭り好きが集まり結成しました。仙臺藩伊達家の家紋「竹に雀」の紋章の中の「阿伝の雀」にちなみ、会員同志が阿伝の呼吸を追求し、雀踊りと伊達の粋を楽しみながら究める祭連として、命名しました。



初代は青空を飛ぶ雀のイメージで青色。二代目の現在は、櫻の緑をイメージした深緑色。阿伝の雀と、仙臺の角字紋をあしらった法被となっています。



当初、金に三日月の白抜と、銀に三日月の白抜の手作り扇子を使用していましたが、現在は全面金と銀の豪華な扇子を採用しています。仙臺藩の黄金文化の金と身を守る銀で大変縁起の良い扇子です。

通年、月に2回程度の練習会をし、青葉まつりが近くなると回数が増え、祭りに向けてのテンションを挙げて行きます。ひたすら祭りとお酒とすずめ踊りが好きという人達が集まっている為、青葉まつりのコンテスト等にも参加せずに、祭り自体を楽しむスタンスで参加しています。メンバーの平均年齢が上昇していることから、怪我なく無理なく末永く、すずめ踊りを続けて行けるような活動をしていきたいです。

